

SENKEN

2008年  
(平成20年)

11月25日  
火曜日

織研新聞社

発行所

〒103-0015 東京都中央区  
日本橋箱崎町31-4  
www.senken.co.jp

編集局

03・3664・2341

業務局

03・3639・8030

大阪支社

06・6343・2015

名古屋支社

052・231・2600

京都支社

075・221・2640

九州支局

092・761・6131

上海支局

+86・(0)21・6249・8300

パリ支局

+33・(0)1・53・24・53・34

ご購入は ☎0120-559801

# 織研新聞

## 素材・製造

国内の紡績ビジネスが年々縮小する中で、元気な企業がある。アヤベ（大阪市・松田守右社長）は、あらゆる原料や紡績方法を組み合わせ、市場にない糸、トレンドに沿った多様な糸を作ることで、国内外の有力アパレルから支持されている。

「原料トータルで糸を作れるのは、知る限りの日本でウチくらいだろう」と松田社長。紡績は綿やウール、絹、麻、合繊など特定の原料を主とするメーカーが多いが、同社は梳毛を除き、扱わない原料や紡績方法はほとんどない。本社の棚にズラリと並ぶのは、混率も番手も異なる300種の自社開発糸。鹿児島工場は毎月数十種の試紡を行う。

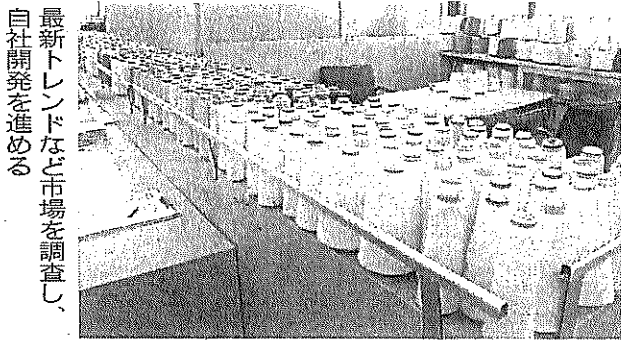
## 市場にない糸作ります

元気印の紡績メーカー アヤベ

### 多彩な原料、技術を駆使

衣料では複合化が進み、「3着混は当たり前」。原料や番手を変えるたび、工場では機械と機械の配置を変えるため効率が悪。太

さも長さも性質も異なる織維を1本にするのは容易でないが、これが強みとなる。糸作り一筋の社長や工場従業員約100人のうち



最新トレンドなど市場を調査し、自社開発を進める

20%が開発にかかわり、元大手紡績の技術者6人が指導に当たる。売の先は商社、機屋やニッターだが、最終的に欧米の有名ブランド、東京の大手アパレルやSPA（製造小売業）のほとんどが使っている。用途も婦人紳士アウター、インナー、スポーツ、資材と幅広い。「おもしろい糸を作つてやろう、そればかり考えてきた」と松田社長。「買ったもらったら終わりではなく、ユーザーが生きる道を示せるか」を問いかける。「存続できているのは、糸が変わっている証拠。ユーザーに『これは扱ってみたい』と言われる糸、それも市場で売れる糸を作り続けたい」と意気込む。



ISO 9001  
JQA-QMA11300



2034-2005-AQ-RGC-UKAS

業界初の日中両拠点  
ISO9001:2000認証取得

小林織ネーム株式会社  
http://www.kobaori.co.jp  
京都本社 TEL.075-451-5191 (大代表)  
日本 | 東京・大阪・名岐・福山・福岡  
中国 | 香港・上海・青島